

計画の名称	関内・関外地区都市再生整備計画事業												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	横浜市												
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・関内駅周辺地区における大規模な土地利用転換を通じ、「国際的な産学連携」「観光・集客」をテーマとして地区の賑わいと活性化の核を創出する。 ・来街者の増加を見据え、海と陸をつなぐ軸線等の接続を強化する歩行者動線を整備し、回遊性の向上や歩行者の安全性・快適性を確保し、地区全体の活性化を図る。 												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,696	A	1,696	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

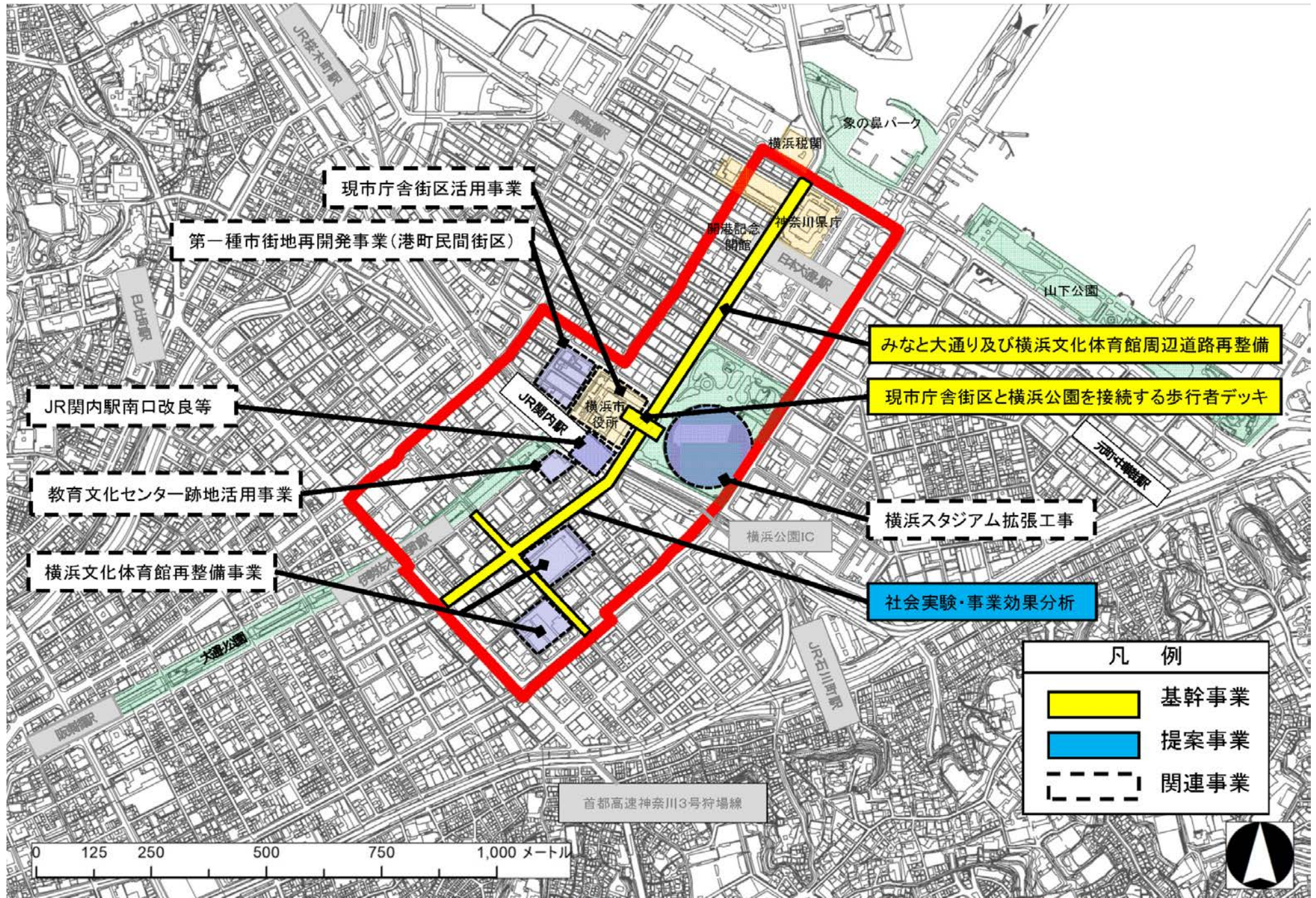
番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	道路再整備により、海と陸をつなぐ軸線及び関内地区と関外地区の接続を強化し、道路空間に賑わいを創出する。 歩行者ネットワークの形成(賑わいの創出) みなと大通り及び横浜文化体育館周辺道路の歩行者通行量の増加	H30 4700人/12h	人/12h	R6 5170人/12h
2	歩行者デッキの整備により、関内駅周辺地区から中華街や港方面への回遊性を強化し、来街者の安全性・快適性を確保する。 歩行者ネットワークの形成(歩行者安全水準の向上) みなと大通りの歩行者交通量(ピーク時予想値)の減少	43人/m・分	人/m・分	27人/m・分

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	横浜市	直接	横浜市	-	-	関内・関外地区都市再生 整備計画事業	地域生活基盤施設等 57.8ha	横浜市						620	-		
	都市再生整備計画事業																			
	A10-002	都市再生	一般	横浜市	直接	横浜市	-	-	関内・関外地区都市再生 整備計画事業	高質空間形成施設等 57.8ha	横浜市							1,076	-	
	まちなかウォークアブル推進事業																			
											小計						1,696			
											合計						1,696			

(参考様式3)

計画の名称	関内・関外地区都市再生整備計画事業		
計画の期間	令和2年度 ~ 令和6年度 (5年間)	交付対象	横浜市



凡 例	
	基幹事業
	提案事業
	関連事業